



- 教育目標
- げんきな子
  - よくかんがえる子
  - なかよくする子



開園90周年

港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

# 10月園だより

令和6年9月26日

September, 26, 2024

園長 河合 晴美

Principal



## 今も昔も笑顔の幼稚園

園長 河合 晴美

秋分の日が過ぎ、暑さも少し和らぎいできました、時折吹く秋風の心地よさを感じながら、子どもたちは戸外で元気いっぱい遊んでいます。

先日の麻布十番秋祭りでは、たくさん子どもたちと保護者の皆さまに参加していただき、感謝申し上げます。麻布十番は、長い歴史の中で6の町会が毎年、それぞれの神輿や山車を繰り出し、季節の節目の行事を行っています。前日の各町会の神酒所では、多くの方々が準備を進めていました。そして、子どもたちがやってくることを心待ちにしながら、ロ々に「子どもたちのために…」という言葉を送りました。人が寄り合う「睦」という言葉を大切に、季節ごとに人々が触れ合う温かさが続いている地域に南山幼稚園があります。その有難さを改めて実感しました。地域の皆さま、いつもありがとうございます。

10月22日は、開園記念日です。本園に残る記録写真で昭和9年から戦前までのものはわずかですが、昭和24年以降の写真では当時の様子を多く知ることができます。運動会で玉入れや借り物競争をしていた様子、水や雪で遊ぶ子どもたちのとびきりの笑顔が残っています。子どもたちが劇を進めている姿では慎重さや緊張感が伝わります。行事のプログラムや立看板は、子どもたちの絵や字で作られていることなど、当時の幼稚園の様子を興味深く知ることができました。資料を知ること、子どもたちが主体となる教育活動が行われ、幼児教育の根本が年月を経ても確かに受け継がれていることが分かり、嬉しさと誇らしさを感じました。

90周年を迎えた今の子どもたちの様子では、みなと科学館の遠足後、プラネタリウムやアイボをつくることに夢中な5歳児、キッズダンスで取り上げたブレイキンのポーズに挑戦する3歳児、リズムに乗りポーズを決める4歳児の姿があります。夏休み後、力強く成長し話すことが豊かになった子、集中してものごとに取り組む様子、自分の力を精いっぱい出しながら走る姿など、それぞれの中にある可能性がさらに花開いています。その力を活かし、充実した日々の中で親子運動会や周年行事に向けての取組を行います。そして、未来へと笑顔をつなげていきます。



<麻布十番の秋祭りの様子>